

はてんがマン

連絡先 津田南美 長崎市

編集人 葛西よう子

私達の今年の目標 (1月例会で決定しました)

長崎市で活動中のユニークな女性グループを知ろう。交流はう。親しくなろう
そして連帯出来たらナ!

二月四日、南国長崎でさえ足の
つま先が氷を履き、寒い寒い日。
国鉄長崎駅にほど近い
ビルの中の三階にある、専ら私
婦人会をばうせんやマン
達、三名で訪問しました。
ドアを開けると、チグリスと
十数個のイスのある、細長い
部屋に暖かいストーヴが
もえていました。
県の社会教育課にお勤
めの上田先生、長崎新
聞社文化部の菊さん、が
まろソを下さ、ました。
● 達成の動機は?
仲間が何やろうと
気のおける者同志14
名が集まりました。
● 何時からですか?
二年前の四月に始まり、また
事務所がどうしても欲くなり、昨年
の夏、このビルに室を借り、また
土曜日の午後二時から四時は、専ら私
婦人会として、必ず、たれが、事務所には、事

第1回訪問先

BSA

長崎専ら私婦人会
(イノ代町 高宮ビル3階)

にしています。会員みんなが、カギを持って、自由に使う
事にしています。会員が主催したり、入会したりする
晩餐会や、他の会場にも、ミミを使用して、います。
イスやテーブルは、古道具屋、めがね屋、を買いました。
クッキー、ストロウ、本棚などは、会員達の、寄付です。
● 活動の中心となる、三つの柱とは?
(1) 母親の自立と子供の自立 (子供を持つ母親の自立)
(2) 働き盛り女性の自立
(3) 老令期にある女性の自立
中々、(2)が中心です。
会員達は、それぞれ、(3)の内、どれか一つを、専ら私
婦人会に、所属し、日曜活動として、調査を
つけています。
● 会員の資格は?
専ら私婦人会を、持つ、働いてる女性。
政党と深い関係がなく、政治的に、無色透明な人
● どんな活動をする?
(1) 年一回のイベントを行う
みな、多岐な仕事を持つ、女性達、が、会合を
する、のに、仲々、調整が、つかない、しかし、イベントを、やる
時は、みんな、気が、合、する、ので、パワと、集まる。
(2) 調査活動 アポイントをとって、訪ねる
(3) 忘年会、新年会などは、必ずや、る、楽しい。

(4) 一般の方々の相談を受ける

毎週土曜日ごと事務所で相談を受けつける。きき手として昨日の二十四時は必ず二名、会員が事務室につめてくる。

相談に見えらる方は多く、中高年が多い。内容は貧乏、子供の教育、家庭内暴力、家族と口をきかぬ、嫁と姑、老後の経済的自立、相続問題など。カウンセリングは具体的な相談が多い。『どうも相談が来ない』という相談も見えらる方が多い。

『婦人学』など相談を受けつける他の機関もあるが、役所担当のつめたい空気が入りにくい。そうゆう方々の相談にのりたい。

ミニで相談日をもっている。この事はスフィを通じて宣伝し、せが、会員の新聞に記事を書き、時々加えたり、講演先で聴衆にアピールしたりとやる。

イベントはどんな事を？

(1) 来る三月十日は「婦人議員と語る会」を開催。松島町町の婦人会館で。

県下全県に十数名、いろいろな婦人議員さんの内ワッパ名が出席の予定。

『県婦連』、『県協婦人部』、『母子連』などの共催。議員の方々に直接みんなの要望をまわらう。しかし、文書ではなく、なまやかにやりたい。

(2) 毎年十一月「高齢化社会を考える」シンポジウムを開催

今年の十一月にはその三回目を行う予定。老人団体に呼びかける。一人暮らしの実際、ボランティアの立場から、十年以上の家庭における介護の経験談など互いに語り合う。

会員の中に医師、看護婦、栄養師、ヨガの先生、作家などがおり、色々アドバースする。

・会員は？

一ヶ月毎に、二紙の家賃その他をまわります。でも足りない時は、会員の寄付があります。

・その他何か面白い活動は？

『車いすバカ』になる事がみんなの願い。時々学習会を開き、各々が自分の車いすの仕草について二の分ずつ語りあひ、みなで計議します。

・最後に……本番の質問

会の目的は？

女性の自立のために、↓私達は何が出来ようか

出来る事からしよう

・私達の一言

自信が、いよいよ、キラキラ光るような女性達の会だ。バカ、がんばる先頭を走るぞう。



今年一月三十一日(火)

『朝日新聞』にのった「ぼんやーマン」の一頁、宗更月さんの記事です。『長崎や二県版』です。『女子教育』に情熱をかける宗更月さんの記事。よんで考えまはう！



○Aなどによる企業の合理化や低成長期における企業の採用減の結果、高卒生の就職が非常に厳しい状況にあることはよく知られている。私、私も就職難、その事に直接かかわって、今年の就職戦線の時期は生徒とともにいぶん悩んだものだった。特に、私自身が女性という点もあって、とくに、女子高卒生の就職に関して考えさせられることが多かった。

例えば、私のクラスのM子は料理が大好きで、ケーキ作りが得意であった。彼女は将来の職業として調理師を希望していたが、男子の求人に限られていた。M子は、レストランのキッチンか、パン屋の板前がかなり多くあるのに、女子の方にはいわゆる仕出しの弁当つめや、大食堂の下働きのような仕事

宗 更月



男女雇用平等法制定に期待

女子は、店員、美容師、バスガイド、見習看護婦などが目立つ。また、たとえ同じ職種であったとしても、その仕事内容は大きな差がある。技能職を例にとると、男子が、電化、精密機械、電子工業などに携わる熟練士として期待されているのに対して、女子は、縫製、機械工作など単純作業を主とした未熟練士としてしか見なされていない。さらに、男子には技術養成の制度や設備が整えられているのに、女子にはそれがほとんどない。

以上のような現状に直面して、私はとまどった。高校までの学校生活では、「男だから、女だから」というわけはなくて、男子も女子も共に勉強や運動に励み、男女協力

結局、この事は教育を踏まえて社会全体の問題として考えざるを得ないだろう。その意味でも、現在審議されている「男女雇用平等法」の制定に期待したい。

(東京小浜高教諭・南高来郡千代町九四二二)



新しい会員を紹介いたします。

徳永幸子さん

十二年あまりの東京での生活を

清算して来る来た長崎。ただ、あやうに青春



の中をつばしつてきた十二年。仕事をし、大学へ通い、結婚し、子育てに追われ、気がつくとも30でした。人生は30から始まると瞳れてきた30でした。それはたしかに新しい人生の始まりでしたが、離婚により多くのものを失うという形で始まりました。何もかもとらうから新たに何かをつくりだして、いんどうを感じつつ、まずは再就職をとおせようのですが、30女の再就職の壁は厚く、とがされています。

ああ、仕事が必要。お金が必要。というわけですが、東京で私を支えてくれた多くの仲間をなつかしく思いおこさせるのです。過去をふり返るまいと思いつく仲間についている自分を知らされていきます。ぼんやマンに集まる皆様どうかヨロシク。皆様とそんな事をあやへりさせて下さい。そしてそんな事を勉強させて下さい。さすやがて良いのです。どこかにうめいてる私たちのためにあること

が、とても大切なように思っています。



前略「ぼんやマン」誌ありがとうございました。だまされた一冊、二冊に貴会の正史がみられていて、大変興味深く拝見いたしました。

今後とも貴会のご発展とご活躍を期待しております。又、ほのニクスがありまして、お送り下さい。

月刊 婦人展望 交換でお送りします。

一月二十三日

市川房枝記念会 図書館

担当 村山

東京の婦連会館の中にある「市川房枝記念会」よりお運の機関誌がほしい。そのお便りがあり、まうとく今迄の分をまとめて送ったのに、返事が来ません。東京へお送りしたの図書館 訪ねたいです。

作家の徳永幸子さん から



すばらしい。かづけられる。同志と。しこのおき紙が来ると、のびのびとした筆が、いかにしかりと未来をみつめてゆくエネルギーが感じられます。来年、未来へと下さるこの事。楽しいイベントを今考えています。野村中。